

# 2026年度 KEIS新人研修

関西電子情報産業協同組合 人財育成委員会

1

次 第

- ・概要
- ・受講のメリット
- ・これまでの受講者数
- ・研修実施企業の紹介
- ・コースと改善点
- ・内定者研修とフォローアップ研修
- ・受講会場
- ・受講料
- ・助成金のご案内

2

1

## 概要

当組合の新人研修は、2007年に厚生労働省から委託を受け実践型人材養成システムのカリキュラム・能力評価マニュアルを作成し、2008年から当組合がOFF-JTの実施機関となって開始しました。

実践型人材養成システムは、OFF-JTとOJTを組み合わせて6か月以上2年以内で行う研修です。(KEISでは6か月を基本としています)

ただし、OJTを実施せず、OFF-JTの受講だけでも可能です。OFF-JTのみ受講でも助成金利用が可能です。

3

## 受講する メリット

- ・助成金活用で、研修費が軽減される。
- ・「中小企業でも一貫性のある教育プログラムがあること」を求人のPRIに使える。
- ・学習管理システムを活用して、受講者の状況を企業担当者がリアルタイムに把握できる。
- ・受講を会場かオンラインの選択ができる。
- ・補講(時間外サポート)やサブ講師のサポートがあり、文系の初心者にも手厚い。
- ・オプションの内定者研修やフォローアップ研修を無料で受講できる。
- ・他社の新人と交流が図れ、定着率も上がる。
- ・受講企業からのフィードバックで、毎年内容を改善している。
- ・組込みやネットワークで3か月間の研修はこの研修ぐらいしかない。

4

回	年度 西暦	受講者数	回	年度 西暦	受講者数
1	2008	24	11	2018	66
2	2009	46	12	2019	67
3	2010	61	13	2020	55
4	2011	54	14	2021	72
5	2012	56	15	2022	66
6	2013	56	16	2023	59
7	2014	65	17	2024	56
8	2015	51	18	2025	63
9	2016	61	計		1038
10	2017	60			

5

コース	対象企業	受講料							計	
		基礎・プラスシユアップ研修			技術研修					
		1日当たり 受講料 (税込)	受講 日数	受講料 (税込)	1日当たり 受講料 (税込)	受講 日数	受講料 (税込)			
Java・組込み コース	組合員	14,300	15	214,500	14,300	39	557,700	772,200		
	事業協力会員 BL特別会員	15,730	15	235,950	15,730	39	613,470	849,420		
	非組合員	17,160	15	257,400	17,160	39	669,240	926,640		
ネットワーク コース	組合員	14,300	15	214,500	17,600	39	686,400	900,900		
	事業協力会員 BL特別会員	15,730	15	235,950	19,360	39	755,040	990,990		
	非組合員	17,160	15	257,400	21,120	39	823,680	1,081,080		

6

## 受講会場

- ・基礎研修(4/7～4/24) マイドームおおさか  
大阪市中央区本町橋2-5
- ・技術研修(5/7～6/30) HIT 天満橋教室  
大阪市中央区石町1丁目2-9
- ・修了式 (9/30) 大阪科学技術センター  
大阪市西区靱本町1丁目8-4

# KEIS様主催新人研修

## 目次

- 研修実施企業紹介と実績紹介
- 研修紹介
  - 研修内容
  - 内定者研修・フォローアップ研修
  - 講義外サービス

1

## 研修実施企業の紹介

### HITスクール

- 大阪を拠点とするIT企業が展開するスクール
- IT企業として多数のエンジニアが在籍
- 受託開発、SES以外にも職業訓練校など教育業にも注力
- 職業訓練ではJava等PCスキル以外にも社会人スキル育成も実施

2

# 研修実施企業の紹介

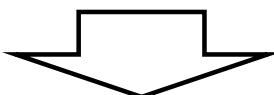
## 研修実績

- ・大阪を中心とする職業訓練校(15年)

(Java / python / DB / ネットワーク / クラウド / Webデザイナー系など約3000人の修了生を排出)

- ・自社による企業研修の複数回の実施

- ・大手研修会社などへの研修講師派遣(10年)



IT企業 + 教育業 = 高品質なIT新人研修の提供

3

## 新人研修

### ①内定者研修

1~3月 e-learning で動画視聴

基礎から技術を一貫して研修

継続・応用

復習・応用

### ②基礎研修

日程 : 4/7~4/24  
会場 : マイドーム大阪  
・社会人基礎  
・PC基本スキル

### ③技術研修

日程 : 5/7~6/30  
会場 : HIT 天満橋教室

Java

ネットワーク

組込み系

### ④企業内OJT

日程 : 7/1~9/29  
各企業の配属先にて

### ⑤修了式

日程 : 9/30  
会場 : 大阪科学技術センター  
・研修振り返り

2025年度までの研修満足度を踏まえ、  
カリキュラムは基本的には踏襲

※カリキュラム詳細につきましては別途配布のカリキュラム資料をご確認ください

### ⑥フォローアップ研修

10月 e-learning で動画視聴

## ◆より良い新人研修についていくために

高い満足度の中にもこんなお声がありました。

- ・ビジネスマナーが定着できていない
- ・人間力や社会人意識が不足したまま
- ・Windowsの基本的な知識が不足している



2025年度の成果と課題を分析し、2026年度研修をより良く進化させます



## ◆ 2026年度の変更点

～実務で活きるスキル習得を強化～



### ✓ 高評価を維持しながら進化

2025年度までの研修満足度を踏まえ、カリキュラムは基本的には踏襲



### ✓ 現場の声を反映

過去のアンケート結果とKEIS様との綿密な協議により一部最適化



### ✓ 基礎研修カリキュラムの最適化

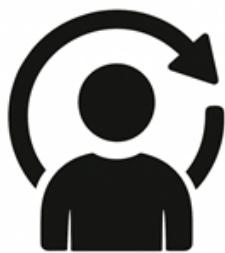
#### ★ 社会人基礎スキル

- 基礎研修で学んだ報連相・ビジネスマナー・ビジネスツールを技術研修の中で繰り返し実践することで、知識としてだけでなく、実務で自然に使える力として身につけます。

#### ★ 実務即応力の強化

- Windows PC・周辺機器操作など必須スキルを大幅拡充
- 配属先の環境に柔軟に対応できる力を養います。

## ◆ 基礎研修 2つの強み



### ① 繰続によるスキルの定着

基礎研修 → 技術研修の一貫した学び

- ・ 社会人基礎スキルを基礎研修で習得後、技術研修で繰り返し実践
- ・ 一度に詰め込まず、段階的に学ぶことで確実に身につく
- ・ 配属後も「使えるスキル」として定着

メリット: 実務で活きる力が自然に育つ / 学習負荷を分散 / 長期的なスキルの定着



### ② PC・周辺機器 基本操作の強化

配属初日から即戦力に

- ・ 実務で毎日使うフォルダ管理、ショートカットキーなど基本操作スキルを大幅に拡充
- ・ プリンター、スキャナーなど周辺機器も網羅
- ・ 報告、資料作成で使用するビジネスツール、クラウドストレージ、メールの送信方法
- ・ AIなどの最新技術との向き合い方など
- ・ 「知っている」から「使いこなせる」レベルへ

メリット: 現場での戸惑いを軽減 / 先輩社員の教育負担を削減 / 即座に業務へ参画可能

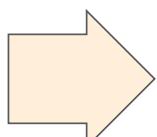
実務をベースとした研修内容で  
幅広い対応ができる人材育成を目指す

### 基礎研修

- PC・周辺機器の操作スキル
- ビジネスマナー・ツール
- コミュニケーション力
- トラブル対応
- IT全般の基礎知識



継続して応用



### 技術研修

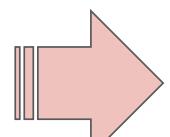
- 専門知識・技術との統合

- チーム演習・業務報告での活用

スキルの定着  
人間力の向上



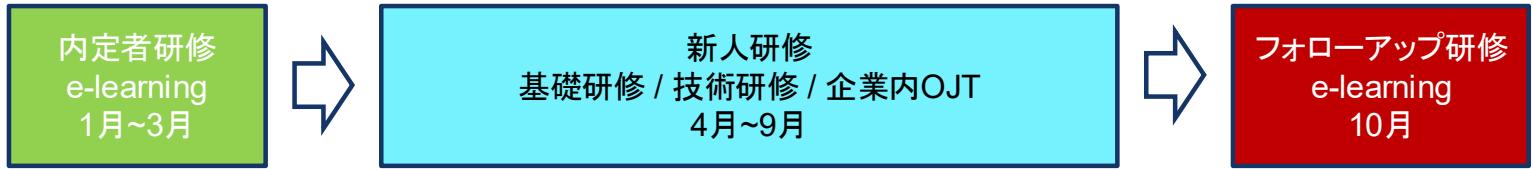
即戦力として実務へ





# 内定者研修 / フォローアップ研修

例年通り内定者研修、フォローアップ研修についても実施予定となります。



## ◇内定者研修について

e-learningで実施。※PC推奨ですがスマートフォンでも視聴可能  
受講生が実際に見ているか不明といった意見もあったため、  
本年度では受講ログを管理し、ご希望の企業様にはお渡しも可能です。

## ◇フォローアップ研修について

すでに業務に就いている方も、いつでも受講できるように  
こちらもe-learningでの実施に変更いたします。



# 内定者研修 内容

## ●このカリキュラムの目的

内定者が社会人としての心構えと基本的なビジネスマナーを事前に理解し、  
スムーズに新人研修に臨める準備を整えることです。  
また、IT業界で働く上での基礎知識や情報セキュリティの重要性を認識し、  
入社後の本格的な研修に向けた土台作りを行うことを目指しています。

- ◇ ビジネスマナー
- 1. 学生と社会人の違いとは?
- 2. 会社の必要性
- 3. ビジネススキルの基本
- 4. 社会人のコミュニケーション
- 5. 問題解決力の必要性
- 6. 第一印象が与える影響とは
- 7. テレワークにおけるマナー

- ◇ IT基礎
- 1. ITとは
- 2. プログラムとは
- 3. プログラミングとは
- 4. データベースとは

- ◇ パソコン操作の基本
- 1. パソコン操作を身に付ける必要性
- 2. パソコン操作の基本

- ◇ 情報セキュリティ
- 1. 情報セキュリティとは
- 2. パスワードと多要素認証
- 3. フィッシング詐欺とマルウェアの概要
- 4. フィッシング詐欺とマルウェアの対策
- 5. 飲み屋の雑談で会社に大損害

- ◇ ソフトウェアの基本操作
- 1. OAソフトウェアについて
- 2. ドキュメントの使い方
- 3. スプレッドシートの使い方
- 4. スライドの使い方
- 5. ビジネスマールとは

- ◇ コンプライアンス研修
- 1. モラルとは
- 2. ハラスメントとは

- ◇ 研修を受けるにあたって
- 1. 主体的な学習姿勢
- 2. 自責思考・他責思考
- 3. 効果的な受講のコツ
- 4. 講師へのアプローチ
- 5. 予習復習の大切さ

...などを予定



# フォローアップ研修 内容

## ● このカリキュラムの目的

本研修で学んだ知識を実務レベルに発展させ、  
高品質なコーディング、クラウドサービス（AWS）、ネットワークセキュリティを習得し、  
現場で即戦力となるための技術力と知識を学びます。

### ◇ コーディング品質向上

保守性の高いコードの書き方  
適切な命名規則とコメント手法  
リファクタリングの基本技術  
デザインパターンの実践的活用

### ◇ セキュリティ

SQLインジェクション攻撃と対策  
XSS (Cross-Site Scripting) の理解と防止  
入力値検証とサニタイジング  
セキュアコーディングの実践

### ◇ AWS

クラウドコンピューティング概論  
AWSサービス基礎  
クラウドコンピューティングの概念と利点  
AWSの基本サービス（EC2、S3、RDS、VPC）  
AWS設計の基本原則（可用性、拡張性、コスト最適化）  
IAMによるアクセス制御の基礎

### ◇ クラウドアーキテクチャ

3層アーキテクチャのAWS概要  
ロードバランサーとオートスケーリング概要  
データベースの設計とバックアップ戦略  
モニタリングとログ管理概要

### ◇ ネットワークセキュリティ

HTTPSとTLS/SSLの仕組み  
ファイアウォールとセキュリティグループ  
VPNと認証システム  
ログ監視  
セキュリティ要件を満たすネットワーク設定

...などを予定

## ◆ HIT 天満橋教室（技術研修会場）

### 天満橋駅 4番出口から徒歩2分



## ◆ご準備していただくもの

- 研修ご参加までに以下をご用意ください。

### ①各受講生のGmailアドレス(研修後削除予定)

主に研修で使用するLMSや各種システムのアカウント登録などに使用します

### ②担当者様のメールアドレス

各受講生の日報などの確認で使用するLMSアカウント登録、Slackの登録の案内などに使用します

## ◆貸し出し物

- 研修終了後、返却していただきます

### ①ノートPC + その他周辺機器

オンラインでの受講の方にも郵送でお貸しいたします。

# KEIS 新人研修 特長

## 講義外サービス一覧

- 出勤、退勤の管理と勤怠閲覧機能
- 出席率の管理と出席率不良時の指導と企業様への共有
- 研修生による日報作成と講師によるフィードバック
- 企業担当者様による日報に対するコメント機能
- 研修生による月報作成と企業担当者様による閲覧
- 研修後の研修生による口頭報告(報連相の練習)と講師によるフィードバック
- 試験結果の企業担当者様による閲覧
- 4月、6月での研修生との面談対応
- Slackによる研修生からの相談受付
- 担当講師からの研修終了前の受講生評価レポート提出と引き継ぎ面談(Zoom)
- 一分間スピーチの実施と講師によるフィードバック
- 成績不良者への面談対応

# KEIS 新人研修 特長

## 報告書の作成とフィードバックの実施

- 日報の作成と講師からの定期的なフィードバックを実施します。
- 受講者の日報・テストを企業がチェックし、受講者にコメントを送ることができます。
- 定期的な研修生による口頭報告と講師によるフィードバックの実施します。

15

## 引継ぎ面談(講師と受講企業担当者)

研修終了時に、講師から企業担当者に受講者の状況を報告します。

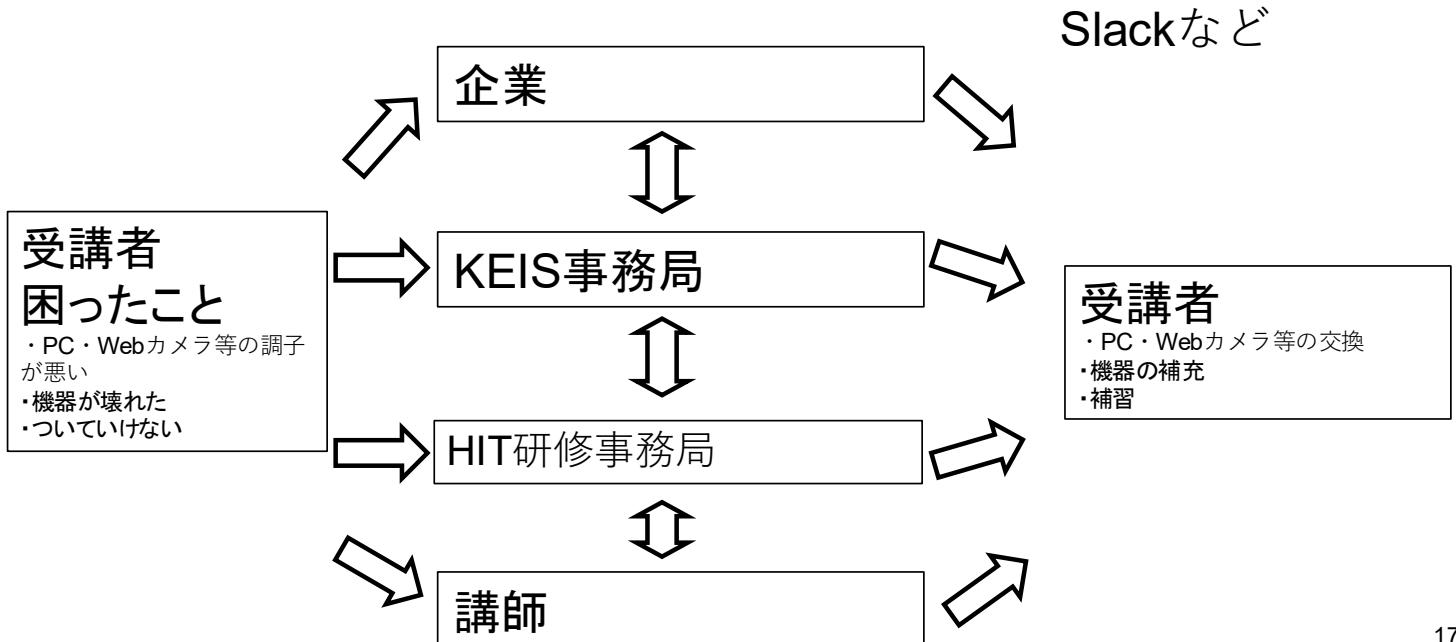
実施時期 6月上旬～中旬

実施方法 Zoom

16

# 受講者のサポート体制

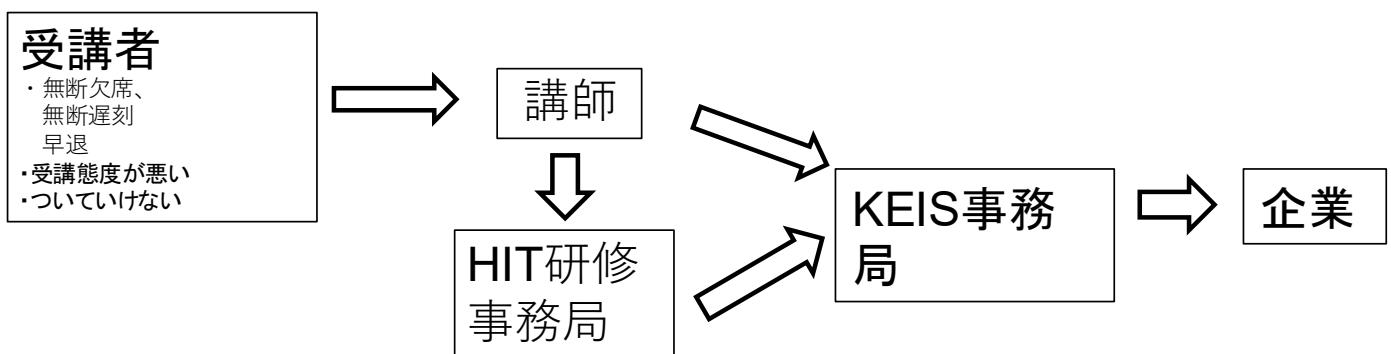
受講者は、困ったことがあると、企業、KEIS事務局、講師、HIT研修事務局のどこにでも言うことができ、その情報をそれぞれが情報共有して適宜対応します。



17

# 企業への連絡体制

受講者の無断欠席・無断遅刻・早退、受講態度が悪い、ついていけないということがあれば、以下の流れで企業に連絡します。



18